



Department of Environmental and Preventive Medicine
Graduate School of Medical Science
Kanazawa University

Yuri Hibino

Kakuma-machi, Kanazawa-shi 920-1192, Japan
PHONE:076-234-4665, FAX:076-264-6435

全国小児科医師各位

2013年11月吉日

生殖補助医療で生まれた子どもの支援体制についてのアンケート調査
ご協力のお願い

貴下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度は、内閣府最先端・次世代研究開発支援プログラム助成研究「グローバル化による生殖技術の市場化と生殖ツーリズム:倫理的・法的・社会的問題」として、小児科医師の方々を対象に、生殖補助医療や、生まれた子どもの健康状態や支援体制についてのアンケートを実施させていただき、お願い申し上げます。

我が国は、不妊患者数、不妊治療施設数ともに世界で有数の不妊治療大国の一つです。体外受精を受けて生を受ける子どもの数が年間3万人弱、37人に一人となっている現在、生殖補助医療によって生まれた子どもの健康や福祉を考えるため、小児科医に対し、ご意見お伺いすることが目的です。

つきましてはご多忙のところ恐れ入りますが、同封致しましたアンケートにご回答いただきたく存じます。このアンケート票は、全国の約2,800施設にお送りするものです。調査の趣旨、重要性をご理解の上、是非ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。なお、恐縮ではございますが、アンケートは、12月15日までに、ご返送いただきますようお願い申し上げます。

ご回答内容は統計的に集計、処理され、施設名などが特定されることは一切ありません。集計結果については、後日ホームページ(<http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/index.html>)にて公開させていただきます。

ご不明な点は下記にお問い合わせください。どうかよろしくお願い申し上げます。

スタッフ 牧由佳、本麻紀、田形亜希、石井優子、西田淑代

助成金代表 日比野由利 (hibino@staff.kanazawa-u.ac.jp)

連絡先 金沢大学医薬保健研究域医学系 環境生態医学・公衆衛生学

(〒920-1192 金沢市角間町金沢大学角間南地区自然科学3号館5階 Tel / Fax.076-264-6435)

裏面もご覧ください

【内閣府による助成研究実績】

「海外渡航治療と第三者生殖技術に関わる不妊治療担当医師の意識調査」

対象者： 全国の特定不妊治療費助成施設（580 施設）の当該治療部門の長である医師

調査時期： 2011 年 7 月

有効回収数： 141 票（回収率 24.4%）

「海外渡航治療と第三者生殖技術に関わる不妊患者の意識調査」

対象者： 現在進行中で不妊治療を受けている人

調査時期： 2011 年 11 月-2012 年 3 月

有効回収数： 2,007 票（回収率 27%）

「海外渡航治療と第三者生殖技術に関わる不妊当事者の意識調査」

対象者： 不妊当事者（治療中でない者も含む）

調査時期： 2011 年 7 月-12 月

有効回収数： Web コミュニティ babycom、ベビカム合わせて 186 票の回答を得た

「周産期医療に携わる医師の超高齢出産と第三者生殖技術に対する意識調査」

対象者： 全国の産科医療施設 2,693 箇所の周産期医師

調査時期： 2012 年 10 月～11 月

有効回収数： 679 票（回収率 25.2%）

「卵子提供に関する不妊当事者の意識に関する調査」

対象者： 国内の不妊治療施設で治療中の患者女性

調査時期： 2013 年 2 月～4 月

有効回収数： 740 票（回収率 29.1%）

「生殖補助技術に対するご意見と不妊治療経験をもつ養親希望者の実態に関するアンケート」

対象者： 全国の児童相談所、乳児院、児童養護施設、斡旋団体、不妊相談センターの施設専門職員

調査時期： 2013 年 8 月

有効回収数： 275 票（回収率 23.9%）

上記調査の詳細については、<http://saisentan.w3.kanazawa-u.ac.jp/essay.html> をご覧ください。